



青森農研フラッシュ

研究成果

(地独) 青森県産業技術センター・農林部門

多収でいもち病に強い飼料用米新品種「ゆたかまる」

農林総合研究所

本県では「中生の早」の飼料用米品種として「みなゆたか」が作付けされていますが、多肥栽培でのいもち病や倒伏の発生、一般米と識別性がないことが問題となっていました。

そこで、多収でいもち病抵抗性や耐倒伏性が強く、玄米が一般米と識別性がある飼料用米品種「ゆたかまる」を育成しました。

「ゆたかまる」の主な栽培特性

- ◆ 出穂期は「みなゆたか」よりやや早く、成熟期は一週間程度早い。
- ◆ 粗玄米収量は「みなゆたか」より6%程度多収。
- ◆ いもち病抵抗性は「みなゆたか」より2ランク強く、無防除での栽培が可能。
- ◆ 耐倒伏性、耐冷性は「みなゆたか」より1ランク強い。



「ゆたかまる」の草姿

品種名	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	粗玄米 収量 (kg/a)	同左 標準比	玄米 千粒重 (g)	いもち病抵抗性		耐 倒伏性	障害型 耐冷性
							葉いもち	穂いもち		
ゆたかまる	8月2日	9月19日	84	81.1	106	23.1	極強	極強	極強	極強9
みなゆたか	8月4日	9月26日	88	76.6	(100)	22.9	やや強	やや強	強	極強
まっしぐら	8月4日	9月23日	81	75.2	99	22.5	強	やや強	強	やや強

(注) 平成28～令和元年、農林総研(黒石市)多肥区(N:1.0+0.4kg/a)の結果。

障害型耐冷性の「極強9」は「極強」より1ランク強いことを示す。

「ゆたかまる」の飼料成分

飼料成分分析値(平成29年 畜産研究所)

品種名	乾物中(%)					
	粗たん パク質	粗 脂肪	可溶無 窒素物	粗 繊維	粗 灰分	可消化養 分総量
ゆたかまる	7.9	2.4	83.5	0.4	1.7	94.4
みなゆたか	7.5	2.5	84.1	0.3	1.5	94.7

飼料成分は
みなゆたかと
ほぼ同等。



ゆたかまる

みなゆたか

「ゆたかまる」の玄米

乳白・腹白の発現が多く、
一般米と識別性がある。

命名由来と今後の展開

「ゆたかまる」という名称は、家畜が丸々と太り農家が豊かになるようにとの願いを込めて命名されました。令和2年2月に飼料作物奨励品種に指定され、令和3年度より一般栽培が開始されます。「みなゆたか」に替わり約3,000ha作付けされる予定です。

お問い合わせ

農林総合研究所 水稻品種開発部 (TEL 0172-52-4312)